

国立大学法人運営費交付金等における重点支援

「南九州・南西諸島域の地域課題
にこえる研究成果の展開とそれを
活用した社会実装による地方創生
推進事業」

<事業期間:2018年度～2021年度>

「南九州・南西諸島域の地域課題に応える研究成果の展開とそれを活用した社会実装による地方創生推進事業」の背景等

鹿児島大学の基本目標

- 学問の自由と多様性の堅持
- 自主自律と進取の精神の涵養
- 地域とともに社会の発展に貢献する地(知)の拠点



「進取の気風にあふれる総合大学」を目指す

第3期中期目標・中期計画における基本目標

南九州及び南西諸島域の「地域活性化の中核的拠点」

- グローバルな視点を有する地域人材育成の強化
- 大学の強みと特色を活かした学術研究の推進
- 地域ニーズに応じた社会人教育や地域連携の推進
- 機能強化に向けた教育研究組織体制の整備

鹿児島大学
(南九州・南西諸島域共創機構)

南北600キロがキャンパス

国立大学法人運営費交付金等の重点支援

第3期中期目標期間における重点取組のビジョン

「南九州及び南西諸島域の『地域活性化の中核的拠点』(地域の知の拠点)」

戦略③:

南九州固有の地域的課題研究及び強み特色のある国際水準の卓越した研究の推進

取組名:

「南九州・南西諸島域の地域課題に応える研究成果の展開とそれを活用した社会実装による地方創生推進事業」

国立大学法人に対する支援の充実

平成30年度予算（案）

国立大学法人運営費交付金等：10,971億円（対前年度同額）

平成30年度予算（案）の主な事項

国立大学経営改革促進事業：40億円（新規）

■ 国立大学法人の基盤的経費の充実

※国立大学法人運営費交付金、国立大学法人機能強化促進費

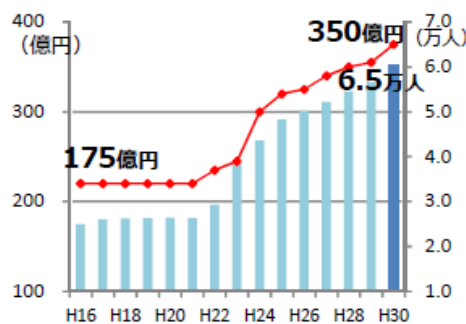
意欲と能力ある学生の修学機会の確保

授業料減免等の充実
350億円（+17億円増）

免除対象人数：対前年度 約4千人増

平成29年度	平成30年度
約6万1千人	約6万5千人
学部・修士 約5万6千人	約5万9千人
博士 約5.7千人	約5.9千人

国立大学の授業料減免等の予算額の推移



「人づくり」のための知の基盤の強化

3つの重点支援の枠組みによる
各大学の強み・特色を生かした機能強化 103億円（新規分）

※機能強化促進係数による再配分94.4億円 組織整備（新規・拡充分）8.4億円

各大学の機能強化構想に対し、**戦略の進捗状況に基づくメリハリある重点支援**。
地方創生やイノベーション創出に繋がる学部・研究科や学内の中核的組織等の**拡充・充実**等に対する重点支援。

- 東北大学** 材料科学国際共同大学院 (H30設置)
海外有力大学と連携した世界トップクラスの教員による教育研究、国際交流等により、材料科学分野を牽引する世界的リーダーを育成
- 千歳大学** 治療学人工知能 (AI) 研究センター (H30設置)
産学連携による医療ビッグデータを活用したMRI画像診断や病理診断の革新を目指す「AI治療学」を創成
- 静岡大学・浜松医科大学** 光医学工学共同専攻 (H30設置)
静岡大学の「光・電子工学」、浜松医科大学の「光医学」の強みを生かした人材育成により、内視鏡やPET装置などの最先端医療機器開発によるイノベーション創出を推進
- 三重大学** 地域創生戦略企画室 (H30設置)
学長直轄の社会貢献機能を有する組織の設置により、全学的な地域行政・企業等との連携を強化するとともに、サテライト設置によるリカレント教育の実施等の地域に根差した取組を促進
- 広島大学** 情報科学部 (H30設置)
データサイエンスとインフォマティクス（データ処理技術）を融合させたカリキュラムの実践により、新学部において情報分野のトップレベル人材を育成
- 鹿児島大学** 南九州・南西諸島域共創機構 (H30設置)
自治体、産業界と連携し、防災、観光、農林水産等に関する課題の相談活動、共同研究、技術開発等を行い、島嶼を抱える地域の固有の問題を解決

基礎科学力の強化

国際共同利用・共同研究拠点（仮称）の創設
4億円（新規）

国際的に質の高い研究資源を有するとともに、優れた国際協力体制を構築する拠点を「**国際共同利用・共同研究拠点（仮称）**」として認定し、国際的な研究環境を整備するための取組を支援。

学術研究の大型プロジェクトの推進
214億円（+1億円増）

- ・学術情報ネットワーク（SINET）の増強による教育・研究基盤整備
- ・30m光学赤外線望遠鏡（TMT）計画の推進



(Courtesy TMT Observatory Corporation)

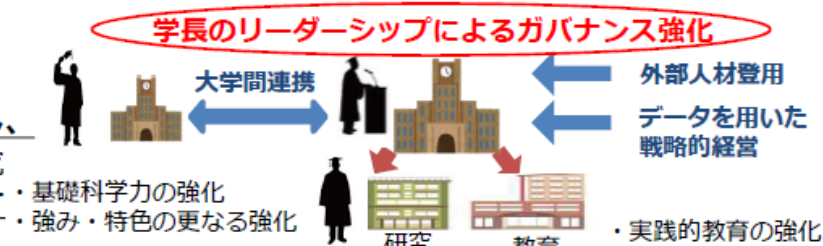
このほか、若手人材支援事業を国立大学の共通政策課題に位置付け、**若手教員の継続的な雇用に必要な経費として22億円**、**附属病院の高度な機能を継続できるよう教育研究診療基盤の充実・強化を図るため、附属病院機能強化分について200億円**を確保。

■ 国立大学改革の強化推進

※国立大学改革強化推進補助金

国立大学経営改革促進事業 40億円（新規）

国立大学の機能を最大化するため、**学長のリーダーシップによるガバナンスを強化し**、学長裁量経費とマッチングすることで、外部人材登用等による経営力の強化、教育研究の質の向上、イノベーション創出等、**エビデンスに基づくスピード感ある改革を実行する大学の取組を支援**。



経営力の強化、教育研究の質の向上、イノベーションの創出

【主な取組内容(予定)】

1 「社会共創イニシアティブ」の設置 ～地域課題の収集・集約力の強化～

地域課題の包括的な収集・集約と大学の知的資源の効果的提供を図るための中長期的な地域課題を設定し、6分野(観光産業・国際、エネルギー、農林畜産、水産業、医療・地域防災、食品加工)の学部横断的な教員グループ等による事業育成分野において課題解決の相談活動、共同研究等やプロジェクト構築、「オープン実証ラボ」の推進による地域課題の解決を目指す。

2 「オープン実証ラボ」の設置 ～中小企業の地域の研究・開発力の強化～

県内の中小企業との研究開発機会の拡大と研究成果の可視化(試作・プロトタイプング)による事業化支援の充実を図るため、地域一帯での研究成果の試作の機会を確保する。

オープン実証ラボは、大学(南九州・南西諸島域共創機構棟及び学内部局施設)や主な公設研究機関(民間企業への拡張、離島の未利用施設も想定)に設置し、関係教員、地域の公設研究機関や中小企業が集い、当初は企画検討、外部資金等を獲得した上で試作や技術評価を行う。

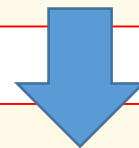
3 「社会実装チーム」の設置 ～本学の研究成果の展開及び社会実装～

南九州・南西諸島域(特に島嶼域)における技術移転活動の支援のほか、行政との連携、公的資金の活用やビジネスプラン構築の支援等を通じた本学の研究成果の社会実装を目指す。

4 学内・学外連携の強化

- ①産学・地域連携本部機能強化(産学・地域共創センター等の設置)及び教員等の配置によるインターフェイス機能の強化
- ②「鹿児島大学サポーター制度(仮称)」の創設と運用……卒業生・OB/OG人材(特に島嶼出身者・生活者)のコーディネーター化
- ③島嶼等自治体からの若手人材受入&産学連携コーディネート実務研修制度の創設
- ④鹿児島県地域産業高度化産学官連携協議会及び「ネクストかごしま」等との有機的連携の強化

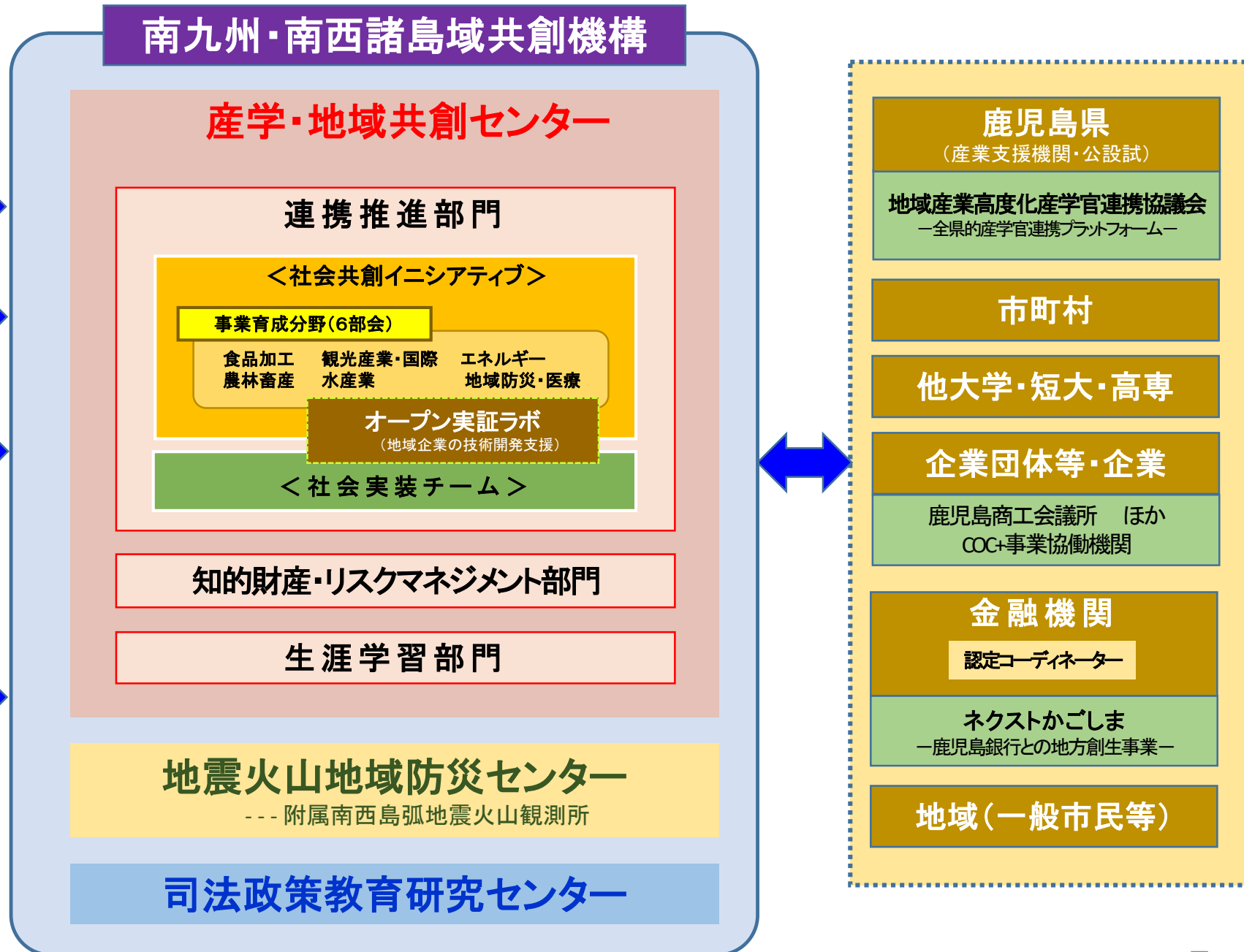
本事業におけるKPI(2021年度末)：南九州・南西諸島域に係る共同研究・受託研究受入件数 **156件** (第2期中期目標期間 平均**78件**)



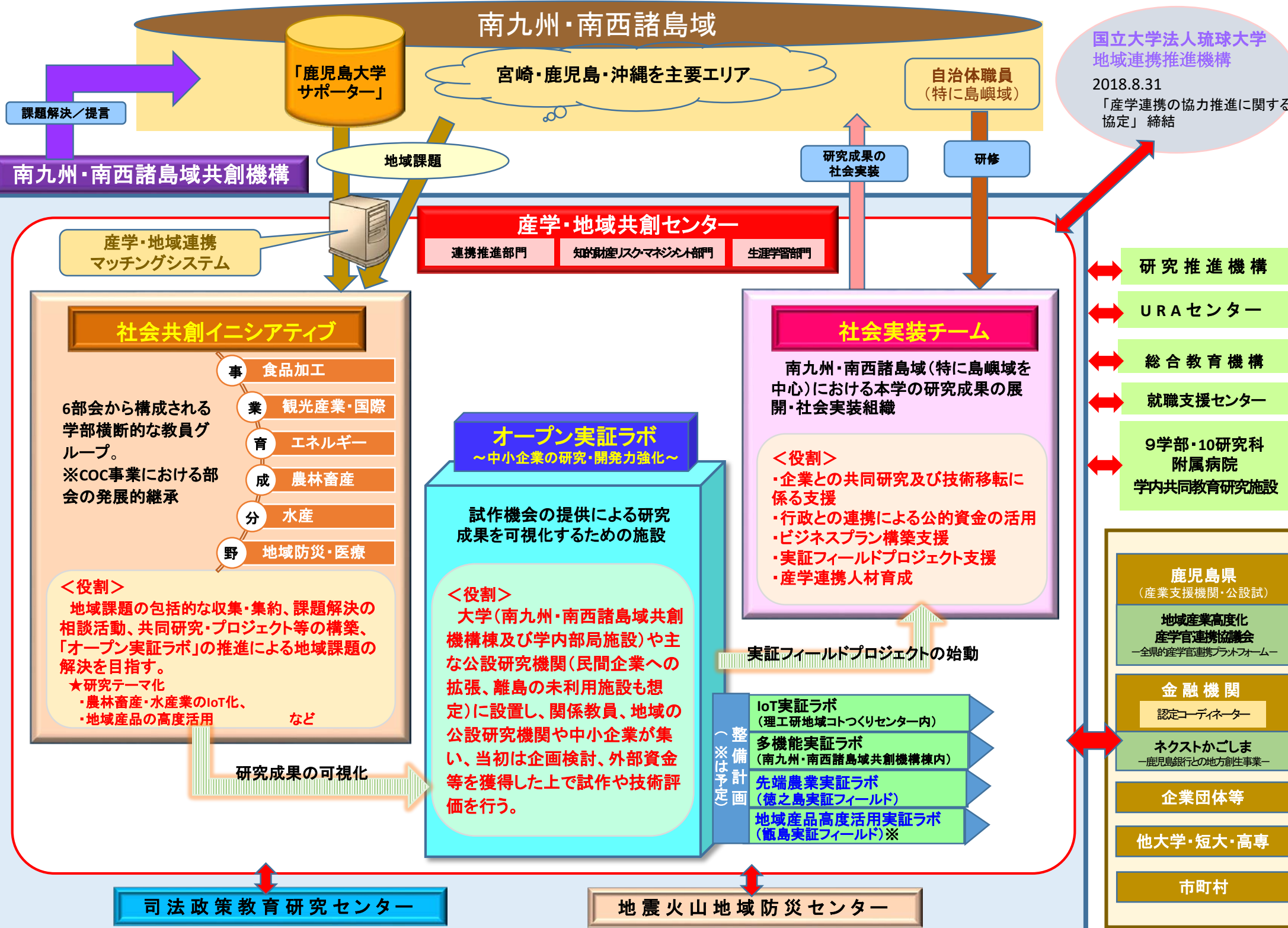
【期待される効果】

- ・地域課題解決や地域資源を活用した事業創出
- ・地域との連携強化を通じた教員・学生の「新規研究テーマの獲得機会の増加」と「テーマの深化」及び「地域の課題解決」
- ・地元企業等への認知・就業機会の増加を通じた地元定着
- ・地元経済の活性化

南九州・南西諸島域共創機構 組織図



「南九州・南西諸島域の地域課題に応える研究成果の展開とそれを活用した社会実装による地方創生推進事業」



「南九州・南西諸島域の地域課題に応える研究成果の展開とそれを活用した社会実装による地方創生推進事業」年次計画（工程表）

事業計画		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	備考
組織整備等	南九州・南西諸島域共創機構／産学・地域共創センターの設置					
	社会共創イニシアティブの設置 ★全学横断型事業育成分野：6部会の編成 (食品加工、観光産業・国際、エネルギー、農林畜産、水産業、地域防災・医療)					COC部会の発展的継承
	社会実装チームの設置					
	特任教員等の配置					2018年度 採用状況 特任教授(7/1)、特任准教授(9/1)、 特任助教(7/1)
地域課題収集・集約等	社会共創イニシアティブによる地域課題収集・集約及び研究テーマ化等					学部等の連携体制の強化
	「産学・地域連携マッチングシステム」の構築及び運用					システム構築は2018年度
	南九州・離島（南西諸島域）調査					
	地域課題を研究テーマ化した研究会の設置及び支援					
	「鹿児島大学サポーター（仮称）」制度の創設と運用					2018年度「鹿児島大学サポーター」 制度創設 2019年度～ 運用
	南九州・南西諸島域における産学連携情報の収集、流通、蓄積に関する基礎調査					
地域の研究会・実装力強化	社会実装チームによる事業化支援活動（補助金獲得、ビジネスプラン構築支援、技術移転支援、自治体との連携）					
	「オープン実証ラボ」（制度化・設置・事業の構築） －南九州・南西諸島域共創機構棟、理工学研究科附属地域コトづくりセンターほか4拠点－					南九州・南西諸島域共創機構棟は 2019年度までかけて整備 県内公設試、中小企業等内設置も将来的に設置想定
	実証フィールド（徳之島）の設置・運用 －農林畜産・水産業のIoT化－					2018年度は徳之島3町における実証フィールドの基盤整備
	実証フィールド（甌島）の設置・運用 －地域産品の高度活用－					
	島嶼等自治体からの若手人材受入&コーディネート実践研修制度の創設及び連携					2018年度は環境整備、2019年度から試行的に研修生受入を実施
その他	鹿児島県地域産業高度化産学官連携協議会・ネクストかごしま等との連携協働					
	広報活動（シンポジウム等）					2018年度はキックオフシンポジウムを開催